(1) 応募者情報

1. 団体名 または 個人名

散策者

2. 団体 または 個人のプロフィール

193 /200字 (自動カウント)

散策者

舞台作品を制作する集まりとして、2018年から活動を開始。いわゆる「シアター」の上演に留まらず、人が集まり、話し、他者を見つめることの可能性を様々な角度から探究する。直近の活動は、『グッとベター』(円盤に乗る場「NEO表現まつりZ」参加作品)、『殖える』(自主企画公演)、『やらせたいことをやらせる』(「交換レジデンスプロジェクトvol.2一人間のための窓ー」参加企画)など。

3. 団体 または 個人の活動実績(団体の活動実績がない場合は、主要なメンバーの活動実績

2018年9月 団体設立

第1回公演『ラブドールと暮らす』制作・上演

2019年3月 第2回公演『思想も哲学も過去も未来もない君へ。』制作・上演

2019年4~6月 第2回ワークショップ『太田省吾を声に出して読む』主催

2019年10月 第3回公演『アイルトン・セナの死んだ朝』制作・上演

2020年4月 ウェブサイト企画『Ohio Impromptu』発表

2022年3月 第4回公演『話』上演中止

2022年5月 ワークショップ『思い出して話す』主催

2023年6月 第5回公演『西尾久を散策した』制作・上演

2024年6月 第6回公演『グッとベター』制作・上演

2024年12月 第7回公演『殖える』制作・上演

2025年3月 「交換レジデンスプロジェクトvol.2 一人間のための窓一」参加企画『やらせたいことをやらせる』制作・上演

4. 団体 または 個人のWEBサイト・SNSのURL

WEB: https://sansakusya.com/

Instagram: https://www.instagram.com/the_sansakusya/

5. 活動に関する動画1本のURL (YouTubeまたはvimeoのURL) *任意回答

https://youtu.be/ZvKxEMnp-kE

*自由記

6. 上記動画の説明(例:撮影・制作時期/作品タイトル/内容:公演記録映像・PR動画な

2024年12月 第7回公演『殖える』公演記録映像

7. 応募動機(特に重要視したもの5つに、プルダウンで○を入れてください)*任意回答

	ステップアップのため	製作費のサポート		居住地を問わない	
0	趣旨に当てはまる企画がある	施設使用料のサポート		国籍を問わない	
	認知度を上げたい	テクニカルスタッフのサポー		年齢を問わない	
0	発表の場がほしい	制作サポート		日程	
	交流したい	鑑賞サポート		アーティスティック・ディレ	クター
	海外展開のきっかけがほしい	記録撮影のサポート		審査員	
	東京都で公演がしたい	交通費のサポート(面談)		面談(最終審査)	
0	東京芸術劇場で公演がしたい	多言語サポート費(面談)		選考レポート	
	劇場施設で公演がしたい	交通費のサポート (本番)	0	フェスティバル/芸術祭に参	<u>-</u> 加したい
0	舞台芸術以外も対象になってい	多言語サポート費(本番)		東京芸術祭に興味がある	
その他					

(2) 企画内容

1. 作品タイトル

ワーク原理主義展

2. 希望する会場

B-1・B-2【どちらか】東京芸術劇場 アトリエイーストまたはアトリエウエスト 会場利用日程: 2025年10月27日(月

3. スケジュール想定(上記の「会場利用日程」をどのように使用するか、自由にお書きくだ。

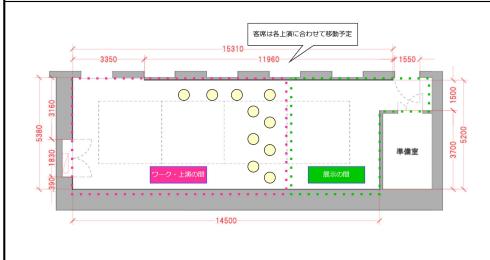
10/27(月)~10/31(金): 仕込み・ゲネ等 11/1(土)~11/3(月): 公演・展示期間

4. 会場使用プラン

現時点での想定をお書きください(採択後の変更も可能)。以下の2点について審査の参考にいたします。

- (1) 実現可能性のある企画かどうか
- (2) 複数団体での上演とする場合に、転換や入れ替えが可能かどうか
- 正確な図面である必要はなく、会場使用のイメージができれば問題ございません。

Excelの図形を使用/別途作成した図面を貼付/手描き資料を貼付/文章で説明等、形式は問いません。



5. 出演者・スタッフ(出演調整中など含む、現時点で想定される関係者を記入してください

企画・構成:中尾幸志郎

参加アーティスト/ワーカー:岩下拓海、岡澤由佳、田中優之介、中尾幸志郎、長沼航、原涼音、他

デザイン・広報:岡澤由佳、長沼航、他

観察・協力:庄島明源、他

6. 上演時間(鑑賞にかかる時間) *特殊な鑑賞方法の場合は、文章で補足してください。

🛗 タイムテーブル 本イベントは「展示」・「ワーク」・「上演」を組み合わせた3日間の探究の場です。 参加者は、**作品展示の鑑賞、ワークの体験、上演の観覧**を通じて「ワーク原理主義」の実践と成果を 体験できます。 各日程は以下の2つの空間で進行します。 ## 画 展示の間 ★ **1日 2回、異なる作品を展示** 📌 **展示替えの時間(14:00-15:00)を設け、内容を更新** ## 🌄 ワーク・上演の間 🖈 **午前はワーク(11:30-13:30)+振り返り(13:30-14:00)** ★ **午後は2回の上演(15:00~ / 16:30~)** 📌 **1日の最後に「発表振り返り」(18:30-20:00)を行い、アーティスト同士で探究を深める** ## 🔄 1日の流れ(まとめ) | 🕒 時間帯 | 📠 展示の間 | 🥞 ワーク・上演の間 | --- | --- | --- | | 11:30-13:30 | -- | **ワーク** | | 13:30-14:00 | - | **ワーク振り返り** | | 16:00-16:30 | -- | **休憩** | | 17:30-18:30 | — | **休憩** | . | 18:30-20:00 | **Day○発表振り返り** | **Day○発表振り返り** | . | 20:00-20:30 | **客出し** | **客出し** | | 20:30-21:00 | **展示替え** | **撤収** | | 21:00-21:30 | **撤収** | **撤収** 7【2.でAを選択した場合のみ】上演形式 プルダウンから希望するものに○を入れてください。複数可。 [パターン1] 1団体のみの上演 [パターン2] 複数団体での上演(例:ショーケース形式) [パターン3] 複数団体が個別に上演(例:入れ替え形式) 8.【7.で [パターン2・3] を○にした方のみ】転換等に関する留意点や希望があればお書き ください。 例:大きな舞台装置を使用する/床材に指定がある/水・匂い・火などを使用する